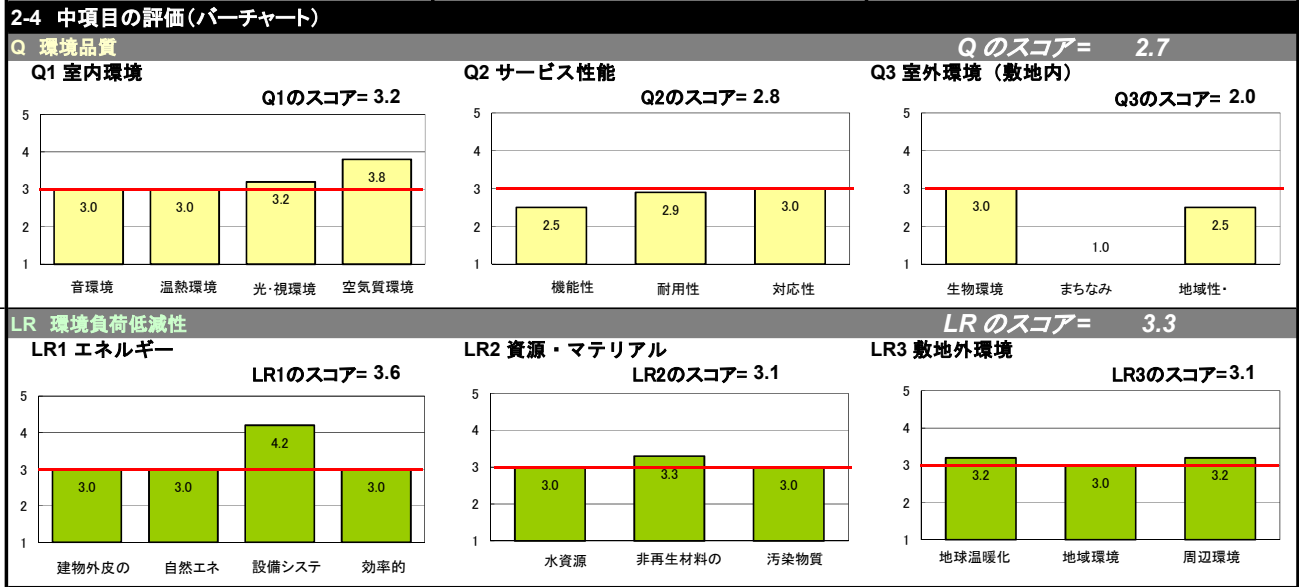
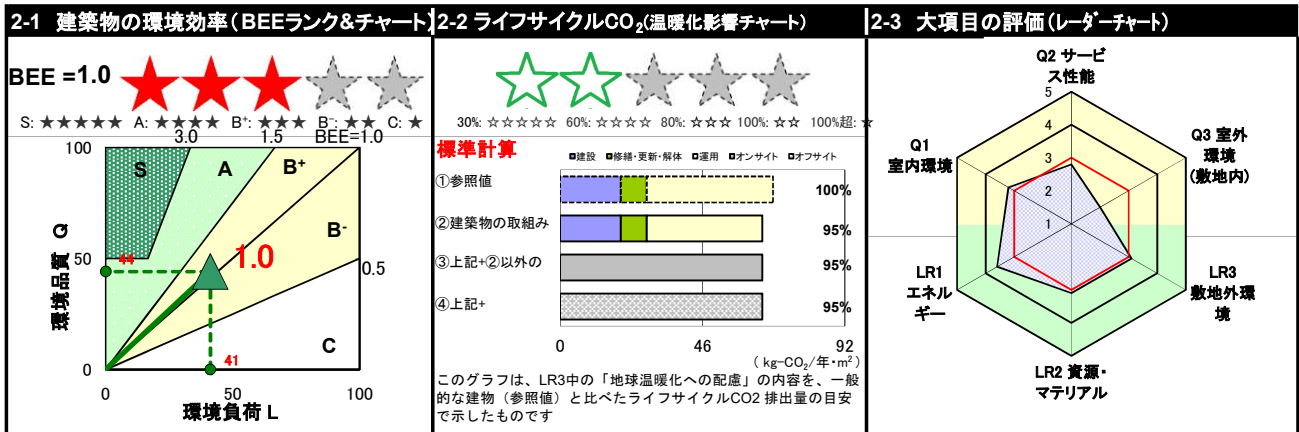


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オープンレジデンシア小田原市浜町3丁目新築工事	階数	地上5F
建設地	小田原市浜町3丁目348番、他12筆	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年5月31日
敷地面積	1,536 m ²	作成者	(株)野生司環境設計
建築面積	973 m ²	確認日	2023年6月5日
延床面積	3,911 m ²	確認者	(株)野生司環境設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
東海道線他小田原駅より徒歩15分ほどの準住居地域にある共同住宅。	特になし	
Q1 室内環境 カーテンと庇にて昼光制御している。 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 給水VLB(B)、汚水排水VP(B)、冷媒管CUP(C)、Eは不使用。	Q3 室外環境 (敷地内) 0
LR1 エネルギー BEI=0.89、LED照明設備を導入している。	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用し、置床も採用している	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場・駐車場及び管理用車両の駐車スペースも確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される